

北海道教育委員会「S-TEAM教育推進事業」
令和4年度（2022年度）授業研究(改善)セミナー

道南・外国語 実施報告



令和4年11月22日（火）、北海道登別明日中等教育学校を会場に「『教科・科目における探究的な学び（主体的・対話的で深い学びの充実）』及び『ICT（一人一台端末）を活用した効果的な学習指導』」をテーマとして道南・外国語の授業研究セミナーを開催しました。道南ブロックの各管内から27名（集合20名・オンライン7名）の参加がありました。

本講座の実施内容等を紹介しますので、授業改善の参考として御活用いただければと思います。

実施状況

【学習指導案検討会】

本セミナーの研究授業の実施に向け、道立高校教諭4名、道教委指導主事・研究研修主事3名、から成る「授業研究チーム」を編制し、オンラインで学習指導案の検討を3回実施しました。学習指導案検討会での協議の中心は、パフォーマンステストの内容及びそれに付随した単元計画の作成でした。また、単元計画を作成していく上で、どのような内容の授業を授業研究セミナー当日に行うべきか、議論を深めました。

さらに、担当指導主事が直前の授業を見学させていただくことで、授業者と話し合いながら、授業研究セミナー当日の指導案を微調整し、最終的なものを完成させました。

【研究授業】北海道登別明日中等教育学校 山岸 充明 教諭

コミュニケーション英語Ⅱ 「Lesson 7 The Power of Color」において、「効果的な配色について考え、その理由およびそれによって期待される効果について表現することができる」ことをねらいとして、5回生A組（35名）を対象に研究授業を行いました。

この授業の中では、山岸教諭が、生徒同士のコミュニケーションを発展させるための方策を工夫したり、その場に応じた発問を工夫したりすることで、生徒が生き生きと英語を使用している姿が見られました。

また、山岸教諭は、GoogleFormsの質問機能を使って生徒の考えを全体に共有したり、うまく表現するためのヒントとなるような資料を提示したりするなど、ICTを効果的に活用していました。



[学習指導案](#)

QRコード



【研究協議】

研究授業実施後に、「単元指導案及び指導案の改善について」及び「ICTの活用について」を柱に研究協議を行いました。

「単元指導案及び指導案の改善について」では、参加者から、前時の授業内容についての質問やパフォーマンステストの内容についての意見が出ました。



また、「ICTの活用について」では、参加者が日頃活用しているGoogle Classroom内の機能を紹介したり、山岸教諭が授業内で活用したアプリの詳細説明をしたりするなど、効果的な情報交換及び活発な協議をすることができました。

セミナー参加者の声

【参加者の声】

- 主体的に生徒が取り組む時間を確保するために、教科書を効果的かつ効率的に活用することが大切だとわかった。
- ICTを活用し、クラス全体で意見を共有しており、大変参考になった。
- 本日のプログラムの一つ一つ全てが、本当に有意義で、今後自分が何を意識すべきでどのように授業改善に取り組むべきか、より明確にすることができた。
- 実際に、生徒たちが主体的・対話的な学びをしている授業の様子を見て、何が主体的で深い学びにつながるのかを具体的なイメージすることができました。
- 学校全体として、探究的な学習を含めた年間計画の作成ができていないため、本日学んだことを生かし、自分が中心となって、探究的な学習を推進していきたいです。

【アンケートの結果（一部）】

- 1 教科における「探究的な学び」又は「主体的・対話的で深い学びの充実」に関する理解は深まりましたか。
 - ・おおいに深まった 52.6% ・深まった 47.4%
- 2 「ICT（一人一台端末）を活用した効果的な学習指導」に関する理解は深まりましたか。
 - ・おおいに深まった 57.9% ・深まった 42.1%
- 3 今回の授業研究セミナーは、あなたの今後の授業改善に役立ちますか。
 - ・おおいに役立つ 63.2% ・役立つ 36.8%